

# 図書館通信 2026年2月

三股町立図書館 TEL 0986-51-3200

開館時間 月曜日、毎月第3水曜日、祝日は休館です

火・水・金・土曜日 10時～18時  
木曜日 10時～20時30分  
日曜日 10時～17時

## ～おしらせ～

エントランスの天井耐震工事終了に伴い、  
南側正面出入口が利用できるようになりました

貸出・返却は引き続き多目的ルームで行っています



日	月	火	水	木	金	土
1	2 休館日	3	4	5	6	7
8	9 休館日	10	11 休館日	12	13	14
15	16 休館日	17	18 休館日	19	20	21
22	23 休館日	24 休館日	25	26	27	28

11日は建国記念の日、  
24日は23日:天皇誕生日の振替のため休館



日	月	火	水	木	金	土
1	2 休館日	3 休館日	4 休館日	5	6	7
8	9 休館日	10	11	12	13	14
15	16 休館日	17	18 休館日	19	20 休館日	21
22	23 休館日	24	25	26	27	28
29	30 休館日	31	4/1	2	3	4

3日、4日は臨時休館、  
20日は春分の日のため休館

## ■「在架予約」ができるようになりました

今まで予約を入れられるのは、貸出中の資料のみでした。

令和8年1月22日(木)より、貸出可能(図書館の書架にある)資料も予約可能になりました。  
電話やホームページから予約できます。

資料の準備ができたとの連絡が来てからご来館ください。取り置き期間は1週間です。

予約可能=○ 予約不可=×

	貸出可能 (図書館の棚にある)	貸出中	禁帶出 館内利用のみ 雑誌の最新号
変更前	×	○	×
変更後(令和8年1月~)	○	○	×

## ■本情報

第174回芥川賞・直木賞が発表されました。

### ◇芥川賞

『時の家』 鳥山 まこと/著 講談社

青年は描く。その家の床を、柱を、天井を、タイルを、壁を、そこに刻まれた記憶を。目を凝らせば無数の細部が浮かび、手をかざせば塗り重ねられた厚みが胸を突く。ある家の記憶を紡いだ小説。『群像』掲載を単行本化。

『叫び』 畠山 丑雄/著 新潮社

早野ひかるは「先生」に打ちのめされ、銅鐸と土地の来歴を学ぶ。かつてここには、満州に渡って「陛下への花束」を編み、紀元2600年記念万博を楽しみにしていた青年がいた。恋愛政治小説。『新潮』掲載に加筆修正。

### ◇直木賞

『カフェの帰り道』 嶋津 輝/著 東京創元社

流行りに乗り切れない、長閑な「カフェ西行」で女給たちは朗らかに働いた。時代を映す鏡であった仕事「女給」を通して、大正から昭和を生きた市井の人生を描き出す。『紙魚の手帖』掲載に書き下ろしを加え単行本化。